

第 1 回審議会（令和 6 年 8 月 9 日開催）でのご意見（要旨）

1) スマート公園岸和田アクションプランの概要（案）について

○市民意見収集時の留意点

- ・ 計画段階で市民意見を積み上げていく必要がある。
- ・ 地域団体の活動も停滞している地域があり、地域の特徴を踏まえ、意見収集を行う必要がある。
- ・ 子どもや子育て層の人々の意見を確認することが重要ではないか。
- ・ 地域の状況により、総論的な議論を行いにくい箇所もある。意見収集時の工夫が必要になる。

○庁内他部署に対する意見収集

- ・ 市としての考えをまとめる際、公園のもつポテンシャルを発揮するうえで、庁内他部署の意見を確認してはいかがか。
- ・ 今後の利活用が期待できる団体等へのヒアリング等も検討してほしい。

2) 岸和田市内の公園緑地等の状況把握の検討（案）について

○機能に応じた誘致距離の検討

- ・ 特色ある公園では、機能によっては標準的な誘致距離を超える範囲からの利用も考えられる。機能を加味した検討を行ってほしい。

○上位関連計画を踏まえた検討

- ・ 策定中の立地適正化計画の検討状況も織り込んだ検討を行うべきだ。
- ・ 都市計画マスタープランの地域像等のすり合わせも検討してほしい。
- ・ 緑の基本計画における拠点となる緑のネットワーク化など、市民の意識を高める工夫も検討してほしい。

○市民協働の意義の提示

- ・ コミュニティ形成における市民協働の意義を踏まえ、公園のもつ意味を打ち出すべき。

○分析指標の検討

- ・ 把握すべき要素と指標のすり合わせが難しいものもある。指標の検討に際しては十分に検討してほしい。

第2回審議会（令和6年11月1日開催）でのご意見（要旨）

1）岸和田市内の公園緑地等の状況把握の検討（案）について

○地域特性の把握

- ・ 人口動態については、他の計画などの資料ともつき合わせながら考慮すべき。

○公園の利用状況・ニーズ等の把握

- ・ データによる検討にとどまるのではなく、各公園緑地の具体的な整備方針等について検討を行う段階では、地域住民や公園利用者を対象とするアンケート、ヒアリング等の実施も検討すべき。

○公園を評価する視点

- ・ これからの多様な利用を包摂する公園づくりでは、公園の活性化やにぎわいなど一般的な方向性だけではなく、落ち着ける空間や自然に親しめるといった多様なニーズに留意すべき。

2）市民・庁内意見の収集について

○市民意見の収集

- ・ アンケートの内容や実施対象について検討し、より効果的な市民意見の収集に取り組むべき。

○庁内意見の収集

- ・ 各課が所有する地域の情報や公園緑地の活用に関する意向等について確認を行うべき。